

## 《学校教育目標》

学びを楽しむ やさしく かしこく たくましく 共に高め合う児童の育成

## 《研究主題》

安心できる学級・学校づくり

～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

本校は、令和3年度から2年間、高知県教育委員会指定「学校活性化・安定化実践研究事業」を受け、学校の活性化と安定化を図り、新たな不登校、いじめ等が生じにくい魅力ある学校づくりを目指して研究を進めています。今年度は、「安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～」という研究テーマを設定するとともに、教職員の合言葉を「協働と徹底」とし、生徒指導の三機能（自己存在感を与える、共感的人間関係を育む、自己決定の場を与える）を生かした授業実践はもとより、学校、学級生活をよりよくするために児童自らが司会役を務めて話し合い、合意形成をして活動する学級活動（1）等の特別活動にも全学級で取り組んでいます。

教科等の授業づくりでは、具同小授業スタンダードの「学習の流れを示すこと」と「付けたい力（資質・能力）が分かるめあてを設定すること」をベースに、国語科や学級活動（1）の授業研究を通して、生徒指導の三機能を生かしながら教科の目標を達成する授業づくりを追求しています。

春の遠足やくすの木タイム（全校児童で交流する遊び）の特別活動では、6年生が中心となって縦割り班での遊びを話し合い、準備、運営、振り返りを行うことで、楽しみながら異学年のつながりを深めることを続けています。

